



▼ サンバードのペリー提督箱館来航160周年記念ヨットレース

メンバーは、山本(艇長)、太田(ヘルム担当)、石田(助人)、舞子(2番目ヘルム担当)、美都子(妻で初心者のジブセール担当)、睦子(初心者のジブセール担当)計6名のエントリーとなった。

昨年から上位入賞が無いサンバーについて女性クルーから、男に任せてもダメだ！女性だけでレースを出来るように、腕を上げたいと張り切っていた前回のレース(1レース 失格、2レース 下位)の悔しさから(艇長が酔っていたのが敗因)、今回のレースは私と、太田に禁酒令が出され入賞するぞと燃えていました。

スタート後のコースを上磯方向に沖出しすることを決めてスタート、しかし出遅れてスタートしたため先行艇のほとんどは上磯沖へ行ったので、岸よりを走ることにした。岸よりを走っていたマイウェイとナディアが良い走りをしていたので、2艇の走り参考にコースを決めて、何度もタックを繰り返して大鼻を目指した。

初心者のクルーはタック時のジブセールを外すタイミングを理解出来ない時、助人の石田の適切な指導を受けてタックのタイミングを理解出来た要で(艇長の教え方が悪いと、悪口言われ)タックのスピードも上がって来ました。

大鼻の手前で、South Windがものすごいスピードで追い越して行き、貴帆miniには登り角度とスピードに負けて追い越されました。大鼻を交わした時には、1位マイウェイ、2位South Wind、3位貴帆mini、4位サンバードでしたが、沖出したマイウェイのスピードが良くないため、岸よりのコースを選択し、一番先にスピンを上げた結果マーク回航は、South Windに続いて2位で回りました。

マーク回航後も岸よりを選択して走りましたが、立待岬の岩に近いのでオンザロックしないかハラハラしながら走り、大鼻近くでスピンを上げてスピントリムした後にビールを飲ませて欲しいと、お願いをしましたがダメの大合唱、見かねた石田が私にビールを下さいと貰い、ビールを開けて私に渡してくれたので、今日のレースで初めてビールを味わう事ができました。

(石田はヨットを良く知っている、感謝、感謝)

大鼻を交わす時に、スピンジャイブ(このメンバーで初めて行ったが上手く出来)後に、クロコダイルディに抜かれましたが、ファストホームのSouth Windとは5分52秒、2位クロコダイルダンデーとは2分1秒差でフィニッシュして優勝する事ができました。

サンバードが良い走りをしたのは、①新しいセール(メイン、ジブ)、②先行艇の走りを見ながらのコース取りが良かった、③チームワークが良くて失敗がなかった、④私と太田が酔っていなかった(次からのレースも禁酒だろうな)以上の要因が重なって優勝(サンバードに勝ためには、如何すれば良いか作戦を練って下さい)が出来て、みんなで美味しい酒を飲めて良かった、良かった。

以上

By サンバード艇長 山本 進

レース結果は裏面に掲載

\*\*\*アンカーライト\*\*\*

第21話 港放浪記「江差港」

松前港から41マイル。函館に立ち寄ったヨットが松前の次に必ずといっていいほど立ち寄るのが江差港である。クルーズだと一般に30~40マイルがデイルンであるから松前から北上するにはぴったりの距離なのだ。奥尻島への中継港でもある。

かつて国体のヨット競技が開催されマリナーはあるにはあるものの、クルーズで来るセーラー達は皆本港へ泊める。マリナーはうねりが入るため安心して艇に係留しておけないからだ。拙も昨年姥神神社祭で一晩置いたとき山車を引いている間にうねりが入りハルを損傷させてしまった。(ショック!!)ということで、よほどの好天気でないとは注意が必要です。ま、それはともかく、仕事の都合でしばらく住んでいることもあり江差は縁が深い町なのです。

7~8月にかけてはお祭りシーズンでもありクルーズ艇も多く立ち寄る。ほぼ毎日出勤前に港を散歩するのでビジターはすぐ目に付くしご挨拶に伺うことも多い。「どんたく」や「春一番」と最初に出会ったのもここである。

2011年の奥尻クルーズではなんと7艇も集合し大宴会となった。入港後北側の奥へ向かい役場庁舎の隣の追分会館裏に波切り突堤が出来、クルーズ船に係留するのにちょうどいいのです。

本年JR江差線が廃線となり寂しさが増した感はあるものの町内には歩いて行ける距離にスタンド、コンビニ、スーパー、銭湯そして飲み屋街があるのです。もちろん安く呑める店もたくさんあるので寄港の折にはぜひご一報を。松前と同様に江差は戊辰戦争の際の舞台となった地でもあることから開陽丸のレプリカはじめ歴史遺産が数多くあり数日は楽しめます。タダ酒を飲みたいご仁は姥神神社祭に来れば死ぬほど呑めます。

ペリー提督来航160周年記念収支報告

収入

会員参加費	3,000 × 68名 = 204,000
非会員参加費	5,000 × 11名 = 55,000
学生参加費	1,000 × 3名 = 3,000
パーティーのみ	2,000 × 2名 = 4,000
協賛金	日米協会 180,000
	函館トヨペット 30,000
	函館セーリング 20,000
	南北海道外洋帆走協会 23,632
合計	519,632

支出

パーティー	3,000 × 70名 = 210,000
ビール	2,000 × 70名 = 140,000
副賞(お食事券)	40,000
通品費	1,312
保険代	11,580
ガソリン(モーターボート)	3,240
Tシャツ(留学生)11枚(保護者2名含む)	16,500
トロフィー代	25,000
印刷代	12,000
追加ビール代	2,000円 × 30名 = 60,000
合計	519,632